

<p>第 20 号 (12 月) 2014 年 12 月 1 日</p>	<p>七里ヶ丘子ども若者支援研究所 それが社会参加だ！</p>	<p>住所：鎌倉市七里ヶ浜東2-31-12 携 帯：090-7212-4055 メール：qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp 編集長 新舛秀浩 発行編集責任者 滝田衛</p>
--	--	---

“表現の場”で、人を応援したい 龍崎明信さん(会員)

2014 年 11 月 9 日、ひとつのイベントが有志たちの手によって開催されました。「大人のための文化祭 2014」多くの人がとに普段出会うことのない芸術に触れてもらうことを目的としたイベントで、2012 年に始まり、今回で 3 回目の開催となりました。私もこのイベントに運営として参加させて頂いておりますが、個人的に、大人のための文化祭でとても大事にしている要素があります。それは「表現の場」という要素です。大人のための文化祭に出演・出展される方は、一部例外はありますが、ほとんどがアマチュアの方で普段は別のお仕事をされています。彼らは本業の傍ら、音楽を演奏したり、絵を描いたり、自分を表現する活動を続けられています。そんな中、今回、印象深い出来事がありました。あるプログラムの最中、観覧されていた 60 代くらいの男性が、大きな拍手を出演者に送っていました。その男性が拍手を送っていた先は、ブレイクダンスでした。ブレイクダンスは閉じた若者文化という印象で、他の世代からしたら、見る前から受け入れられないという人もいます。しかし今回、その男性が拍手を送っている光景をみました。その顔には、驚きと感動と楽しそうな笑顔がありました。私は、若い文化も他の世代に受け入れられる。そんな可能性を感じました。その出来事に、普段接することのない芸術に触れてもらうという文化祭の本分が達成できたこと、そして、普段仕事をしながらも活動を続けている若者の、表現の場になれたことに誇りを感じました。日頃の努力を自由に表現できる場と、それを許容する理解があれば、表現者はもっと自由に夢を追えるのかも知れません。それができる地域になったら、人も地域にも活気が増えるのではないのでしょうか。私は、人々が自由に夢を追える社会は明るい社会だと信じています。このイベントが、その手助けになれば幸いです。



編集長より：龍崎さんから原稿を頂きました。ありがとうございます。イベントをきっかけに表現の理解が進めば表現者が夢を追える。表現者をはじめ誰もが自由に夢を追える社会を僕も切望しています。(新舛)

コラム風 11 月は助言者と講師を3つ引き受けた。テーマは「子どもから学ぶ」「折れない心を育てる」

「生きづらさを抱える子ども若者」。参加者から学びたい熱意は伝わってくるが、「学校は好きでした！」「時間を守ることは当然！」「まじめじゃない！」との子ども観、紋切口調が。子どもを指導したい大人の目線を感じ、大人と子どもの境界線に流れる冷たい風を感じた。そこで“あなたが子どもだった時を思い出してください”と声をかけ、本当に学校は好きでしたか？ 時間を必ず守れますか？ 真面目でない自分がいませんでしたか？と、問い返す頃から本音の交流が始まった。大人にも子どもだった時があり、大人の心が折れているから子どもの心が折れていると思ひ直し、子どものありのままをうけとめようと、うなづく参加者が見え始めます。「大人は子どもを教え、子どもは大人に従う」という考え方でなく、時代を共に生きる人間として対等でいたい、理念先行の考え



【講演会の画面】とは限らない。さて 12 月 14 日は衆議院選挙、大人たちの凄さ、信用を得るために(19 歳までは投票権がなく大人に信託している)投票率 100%のさわやかな風を吹かせたい。(滝田)

☆12月14日研修会「教育とはなにか？を考える 不登校と学校、学力やいじめ、発達障害などをリアルに問う」を横須賀市・市民活動サポートセンターで行います。無料です、ぜひご参加下さい。詳細別紙参照

11月16日子ども若者応援団会議「いつでもどこでも学ぶことができる環境を」



ハロウィンが終わったかと思えばあっという間にクリスマスの足音が。こんにちは。子ども若者応援団団長の小幡沙央里です。11月の定例会には11名が参加し、近況報告と共に今後の研修会・イベントについて話し合いをしました。長年不登校のことに取り組んできた島根さんや滝田さんは、関わってきた子どもたちがもう大きくなって、「不登校のその後」が見えるようになってきたそうです。そこには「不登校、ひきこもりを活かせなかった子」たちがいます。ただそこで終わり、ではなく、いつでも自分の生きたいよう変えられるような環境作りはしてゆきたいと思えます。今内閣府がフリースクールへ財政助成をする計画がなされています。しかしフリースクールの成果を「学校復帰率」にする、首を傾げたくなる計画内容。学校へ行きたい子、戻りたい子の学校復帰支援はすべきだと思いますが、色々な方法、環境で学ぶことが認められるようになると良いな、と思えます。さて、そんな中これまでの不登校を取り巻く環境を振り返り、改めて教育とはなにかを考える研修会を12月14日(日)午後1時半～よこすか市民活動サポートセンターで行う予定です。お時間ある方は覗いてみてくださいね。(小幡)

それぞれの風

By 滝田

○ぼくはうっかりして電話が苦手な若者がいることを忘れていた。人間関係が苦手な若者がいることは理解していたが、約束を取り付ける電話も、また緊張するものなのだ。打ち合わせが苦手な若者がいる反面、打ち合わせを詳細に求める若者もいる。やはり段取り、手続きは明確な方がいい。電話が苦手な若者の現実に、何か適切な方法をぼくも学びたいと思った次第。ご迷惑をおかけしました、1さん。



(ネズミ男：境港)

○ぼくの知人に田澤勇人さんがいる。教員なりたての頃の生徒で、義理堅く研究所会員となってくれた。僕は不義理を重ねる横柄な元担任、恥じ入るばかりだ。彼は横須賀の田浦町で歯科医院を開業し、人望厚く患者さんが押しかける医師。そこは予約のいらぬ歯科医院、素敵で Welcome だ。歯が痛くなった時、予約せずに行けるからだ。特に家を出られず歯痛に悩んでいる人は多いのだから。ちなみに連絡先は046-861-8148です。

感謝の意を込め 子育て交流イベント(9月23日)感想を抜粋して紹介致します

「自分も横須賀在住、横須賀で働いていますが、知らなかった団体なども多々あり知ることができてとてもよかったです。横須賀市内にいても知らないことだらけなので横のつながりをもっと重要だと感じました。」「子ども、親それぞれの立場、事情、環境などが違うかと思いますが、横のつながりがとても大切だと思います。居場所のこともスクールのことも横のつながりがあってこそだと思います。」家庭はもちろん社会・地域で子育てが出来る。そのための居場所、そこにアプローチするための「つながり」が重要なのではないのでしょうか。

【ご参加ください】 「研修会」横須賀 市市民活動サポ ートセンター13時30 分～15時。「応援 団会議」15時～16 時	12月研究所開設日程(駐車場あり) 相談時間:10時～16時 土日訪問はご相談で			
	1日(月)	予約済み	15日(月)	予約済み
	4日(木)	相談	18日(木)	相談
	8日(月)	相談	22日(月)	他事業
	11日(木)	他事業	25日(木)	相談
	14日(日)	研修会 & 応援団会議	29日(木)	休業

編集後記: 通信8月・10月・11月号の研究所電話番号が誤っておりました。お詫びして訂正いたします。本当に「人の力」に支えられ、いろんなことに挑戦できた1年、とても自信になり楽しい1年でした。感謝です。(新舛)